

岩手県職労

月2回刊=1426号
 2014年12月15日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジョー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

給与関係条例を議決

「現給保障廃止」小西県議が一般質問で質す

総務部長「勤務意欲確保」改めて答弁

県議会12月定例会

県議会の12月定例会は12月10日に本会議を開き、月例給・一時金の引き上げ、交通用具使用者の通勤手当改善等を含む私たちの給与関係条例を議決した。一方、現給保障の廃止に関する条例も議決され、50歳台後半層を中心に更なる給与削減を強いられることとなった。

給与改定による差額精算12月24日

5日に行われた一般質問では、推薦県議団である小西和子県議（岩教組出身）が現給保障の廃止に関して、「現場の第一線で働く年代層の実質的な給与減額

であり、勤務意欲確保の対策が必要だ」と県当局の考えを質した。これに対し

増知事は、「高齢層給与の公民差解消の必要性を踏まえた人事委員会勧告を尊重



12月議会で一般質問に立つ小西県議

11月1日に自治労岩手県本部主催の平和学習会に参加しました。午前は、岩手・戦争を記録する会事務局長の加藤昭雄氏から、県内各地の空襲についてお話を伺いました。私は県内の空襲についてほとんど知りませんでした。また、攻撃目標を発見できなかった際は、装弾したまま帰還できないのでとりあえず沿岸部が襲撃されたと聞きました。当時の技術では仕方ないといえ、いたたまれない思いになりました。

自治体職員として平和を考える

自治体本部平和学習会報告

最終本会議で給与関係条例が議決されたことにより、月例給は4月に遡及し

する」とし、小田島総務部長は「勤務意欲の確保に向けて、個々の処遇に意を用いて参りたい」と答弁した。

12月1日付での改正となるが、それぞれの支給日には間に合わないことから、12月24日に支払われる予定の「差額」支給で当該額が精算されることを14確定闘争の中で確認している。

県南局管内4支部 合同要求書提出し局長交渉

遠藤局長・一緒になって改善を図りたい

県職労花巻支部・北上支部・胆江支部・一関支部の

てられた若い世代。郵便の数や内容から、両者の温かな交流と信頼の深さが伝わる一方、戦争への不安や迷いも感じられもどかしく思いました。



核兵器はいらない

核兵器廃絶1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

連合は、原水禁・KAKUKINとともに、来る2015年の核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて、署名活動を行っています。2015年2月末まで、核兵器の廃絶を求めて、1000万人署名活動を全国で展開しています。署名は、2015年4月に日本政府に提出し、4月末にはNPT再検討会議の開催時にニューヨークで国連に提出する予定です。

岩手県内での署名の取り組みは12月25日までとなっています。

多くの職員の皆様のご協力をお願いします。



交渉を行う4支部代表者(写真右側)



「要求書」を遠藤局長に手交する、佐藤胆江支部長(写真中央)

県南広域振興局管内の4支部は11月19日、合同の「独自要求書」を遠藤達雄県南広域振興局長に提出し、交渉を行った。

交渉には、組合側から佐藤胆江支部長他6人、振興局側は遠藤局長ほか2人が同席し行われた。

冒頭、胆江支部の佐藤支部長が「この要求書は4支部合同アンケート調査を行い、その結果を分析し作成したものである」とを伝え、要求書の内容については佐々木胆江支部書記長から説明を行った。

遠藤局長は、要求書の内容について、「現状認識は皆さんと一緒に考えている。県南広域振興局でできること、本庁あるいは人事権を持ったところにおいて、権限のあるところにお願ひする事項もある。一緒になって取り組んでいきたい」とする見解を述べた。また、人事要求や超過勤務縮減については「人事は、震災復興が最優先となっている。したがって沿岸に人員が手厚くなっている。県南局の業務の推進に腐心していただいていることに心から感謝している。皆で一緒に復興を成し遂げよう」として組合に対する協力要請についても触れた。

要求書は年明けの1月19日(4支部合同・号外版機関紙より)

12月1日に今年のエッセイ新語・流行語大賞の受賞作品が決定し、大賞に「ダメよダメダメ」と「集団的自衛権」の2語が輝いた。前者は、女性お笑いコンビである日本エレキテル連合のギャグ。子どもたちの間でコンピの真似をするところから流行りはじめたが、今では老若男女問わず、あちこちでこの言葉が聞かれる。「いいじゃないの」という甘い誘いをきっぱり断るネタだが、独特の口調が、何とも和やかな雰囲気を出している。後者は7月1日に安倍政権が閣議決定した集団的自衛権行使容認をめぐる国会議論など多くの発言から流行語に選ばれた。「受賞辞退」とされており、賞事務局長は受賞者に関して「非公表」としている。▼平和憲法の理念に完全に反する集団的自衛権行使だが、14日に投票が行われた解散総選挙では全く争点にされなかった。奇しくも選挙期間中の12月10日には「特定秘密保護法」が施行された。受賞者が公表されなかったように、政府にとつて都合の悪い情報隠され、武力行使につながる「ダメよ」なんて甘い口調ではいられない。

賃貸だからカンケーナイ?

火災共済・自然災害共済は家財だけでも加入でき、「再取得価額」で保障されるってご存知でしたか?

自然災害共済に大型タイプが登場!

じちろうの火災共済・自然災害共済

全労連 岩手県労働組合連合会

自治労共済本部

●詳しくは所属する組合まで



11月

11/10 現業評議会人事課総括課長交渉

人員の補充や再任用等について人事課総括課長交渉を行う現業評議会幹事会と支部代表者。支部代表者からは、それぞれの職場の実態について直接熊谷人事課総括課長に訴えた。



11月

11/12 14確定最終の総務部長交渉
給与制度の総合的見直し、賃金・諸手当改善で14確定闘争最終となった小田島総務部長との交渉。

※ほかにも各支部、評・協議会など多くの取り組みが行われましたが、ここでは一部のみを掲載します。



10月

人事委員長交渉支援で県庁内に座り込む県職労組員（左写真）と「月例給・一時金引き上げ勧告」・「給与制度の総合的見直し」阻止を求めて、熊谷隆司人事委員長と交渉を行う地公共闘争幹事会。（上写真）



1月

1/9 県庁・盛岡支部合同躍進旗開き



5月

5/1 第85回メーデー県祭典のデモ行進「デコレーション」の部で最優秀賞を受賞した「ゆとりっち」・「ちんあげっち」と一緒に市内をデモ行進する県職労の参加者。



6月

6/1 反核平和の火リレー（胆江地区）
反核・平和を求めてランナーとして力走する県職労組員。



2月

2/5 地公共闘総務部長交渉
「55歳昇給抑制」「管理職手当削減」等について、250人の県庁内座り込み行動を背景に小田島総務部長（円内写真）との交渉を行う地公共闘争幹事会。交渉では、「給与制度全般の課題解消に努力する」との当局の決意を確認して妥結。



5月

5/22 不当処分撤回闘争にかかる「不服申立て」取下げで人事委員会事務局長に書類を提出する高橋文雄主任代理人（上写真左）。



70年代から80年代にかけて、組員とその家族の生活と権利を守るため闘ったストライキに対して当局は「違法行為の指導事実」の有無を確認することなく、当時の組合役員に対して一律的に処分を行った。その処分の撤回を求めて人事委員会審理を続けてきた不服申立てについて、高橋主任代理人（元県職労委員長）は5月22日、申立ての取り下げを行い、約40年にわたる歴史的闘争に、区切りをつけることとなった。



3月

3/3 青年婦人部人事課交渉
人事課へ要請書を提出し、職場の実態について訴える青婦部執行部（右写真）と、対応する坊良英樹給と人事担当課長（左写真）。



4月

4/25 熊谷泰樹人事課総括課長（右写真・右から2人目）と着任交渉を行う本部執行部（写真左）。



4月

4/17 新規採用者県職労ガイダンス（清温荘）
県職労の組織拡大に向けて行われている「新規採用職員」に対する県職労ガイダンス。